



トリガーの設定

- [「トリガーの参照と削除」](#)
- [「トリガーの追加」](#)
- [「トリガーのルールの参照、追加、移動、および削除」](#)
- [「トリガー ルールの条件の追加、編集、および削除」](#)

トリガーの参照と削除

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Triggers] を選択します。
[Triggers] ページが表示され、すべてのトリガーが表示されます。
- ステップ 2** このトリガーに関連付けられている条件ケースを参照するには、強調表示されているトリガーの名前をクリックします。
- ステップ 3** トリガーを削除するには、次の操作を実行します。
- a. 削除するトリガーの名前の横にあるボックスをオンにします。
 - b. [Remove] をクリックします。
 - c. [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
-

関連項目

- [「トリガーについて」](#)
- [「トリガーの例」](#)
- [「使用可能なトリガー条件とケース」](#)
- [「システム設定の管理」](#)
- [「トリガーの設定」](#) の目次ページに戻る

トリガーについて

トリガーは、ルーティングと正規化のロジックの指令に使用できる、条件のセットです。特定のイベント（または条件ケース）に対する応答として、自動的に実行されます。条件には、複数のケースがあります。

次の構造に注意してください。

- トリガーは、1つまたは複数のルールで構成されています。
- ルールは、1つまたは複数の条件で構成されています。
- 条件は、1つまたは複数のケースで構成されています。

関連項目

- 「[トリガーの設定](#)」の目次ページに戻る
- 次の項目：[「トリガーの例」](#)
- 前の項目：[「使用可能なトリガー条件とケース」](#)

トリガーの例

たとえば、New_Trigger という名前のトリガーがあるとします。New_Trigger には、1、2、および3の番号が付いた3つのルールがあります。各ルールには、少なくとも1つの条件があり、各条件には1つのケースがあります。

表 3 New_Trigger という名前のトリガーの構造

トリガー ルール			
	ロジック	条件	
1		Inbound Network is exactly '100'	AND
		Local IP Address is exactly '100.10.10.101'	AND
		SIP Message request	
2	OR	Time Of Day is exactly '200'	AND
		Mid-Dialog	AND
		SIP Method UPDATE	
3	OR	Outbound Network is exactly '300'	AND
		Transport Protocol tcp	

前述の表で、トリガーの名前は New_Trigger です。New_Trigger には、3つのルールがあります。「OR」ロジックのため、トリガーが起動される前に3つのルールの1つのみが真になる必要があります。

ルール1には、次の3つの条件があります。

- Inbound Network is exactly '100'
- Local IP Address is exactly '100.10.10.101'
- SIP Message request

「AND」ロジックのため、ルールが真になる前に3つのすべての条件が真になる必要があります。

「Inbound Network is exactly '100'」という条件では、条件が「Inbound Network」で、ケースが「is exactly '100'」です。

関連項目

- 「[トリガーの設定](#)」の目次ページに戻る
- 次の項目：[「使用可能なトリガー条件とケース」](#)
- 前の項目：[「トリガーについて」](#)

使用可能なトリガー条件とケース

表 4 に、使用可能なトリガー条件およびケースの一覧を示します。

表 4 **使用可能なトリガー条件とケース**

トリガー名	トリガーの説明	トリガー条件ケース
Inbound Network	サーバ側トランザクションについて、トリガー条件の着信ネットワークを設定します。	次のケースを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex 次の条件を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • リモート IP アドレスの IP
Outbound Network	クライアント側トランザクションについて、トリガー条件の発信ネットワークを設定します。	次のケースを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex 次の条件を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • リモート IP アドレスの IP
Local IP Address	着信要求を受け入れるローカルリッスン IP アドレスをトリガー条件に割り当てます。	次のケースを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex 次の条件を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • リモート IP アドレスの IP

表 4 使用可能なトリガー条件とケース (続き)

トリガー名	トリガーの説明	トリガー条件ケース
Local Port	ローカル リッスン ポートをトリガー条件に割り当てます。	次のケースを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex 次の条件を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • リモート IP アドレスの IP
Remote IP Address	トリガー条件のリモート IP ネットワークを設定します。	次のケースを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex 次の条件を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • リモート IP アドレスの IP
Remote Port	トリガー条件のリモート ポートを設定します。	次のケースを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex 次の条件を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • リモート IP アドレスの IP
SIP Message	SIP メッセージのヘッダーが要求ヘッダーまたは応答ヘッダーのいずれであるかに基づいて、トリガー条件を発生させるかどうかを決定します。	次のケースを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • request (デフォルト) • response

表 4 使用可能なトリガー条件とケース (続き)

トリガー名	トリガーの説明	トリガー条件ケース
SIP Method	要求の特定の SIP 方式名でトリガーが発生する、トリガー条件を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> • INVITE (デフォルト) • ACK • PRACK • UPDATE • BYE • REFER • INFO • MESSAGE • OPTIONS • SUBSCRIBE • NOTIFY • REGISTER • PUBLISH • 正規表現
SIP Response Code	特定の応答で発生するトリガー条件を設定します。	<p>次のケースを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex <p>次の条件を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • リモート IP アドレスの IP
SIP Header	このヘッダーの正規表現と一致する場合に発生するトリガーを設定します。	<p>SIP ヘッダー名を設定します。</p> <p>次の SIP ヘッダー インデックスから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • first (デフォルト) • last • all <p>次の一致タイプから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex
Mid-Dialog	ダイアログ中の応答で発生するトリガーを設定します。	none

表 4 使用可能なトリガー条件とケース (続き)

トリガー名	トリガーの説明	トリガー条件ケース
Time Of Day	指定された時間ポリシーを満たす場合に発生するトリガーを設定します。	次のケースを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex 次の条件を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • リモート IP アドレスの IP
Transport Protocol	トリガー条件にトランスポート プロトコルを割り当てます。	次のケースを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • none (デフォルト) • udp • tcp • tls
Proxy Route	プロキシ ルート ルールを設定します。	次のパラメータから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • uri (デフォルト) • uri-user • uri-host • uri-port • uri-scheme • uri-parameter • header-parameter 次の一致タイプから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex 次の条件を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • リモート IP アドレスの IP

表 4 使用可能なトリガー条件とケース (続き)

トリガー名	トリガーの説明	トリガー条件ケース
Request URI	指定された Uniform Resource Identifier (URI; ユニフォーム リソース識別子) パラメータの正規表現と一致する場合に発生するトリガーを設定します。	<p>次のパラメータから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • uri (デフォルト) • uri-user • uri-host • uri-port • uri-scheme • uri-parameter • header-parameter <p>次の一致タイプから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • is exactly (デフォルト) • contains • starts with • ends with • regex <p>次の条件を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • リモート IP アドレスの IP

関連項目

- [「トリガーの設定」](#) の目次ページに戻る
- 次の項目: [「トリガーについて」](#)
- 前の項目: [「トリガーの例」](#)

トリガーの追加

制約事項

既存のトリガーの名前を変更することはできないため、名前は注意深く選択してください。

手順

-
- ステップ 1** [Configure] > [Triggers] を選択します。
[Triggers] ページが表示されます。
 - ステップ 2** [Add] をクリックします。
[Trigger: New] ページが表示されます。
 - ステップ 3** このトリガーの名前を入力します。
 - ステップ 4** トリガーの起動前にルールを 1 つのみ適用する (つまり、「OR」ロジックを適用) には、[Logic] ボックスをオンにして、ロジックをルールに追加します。

- ステップ 5** [Add] をクリックします。
[Trigger Conditions < トリガー名 >] ページが表示されます。
- ステップ 6** ルールをトリガーに追加します。「トリガーのルール参照、追加、移動、および削除」を参照してください。
- ステップ 7** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「トリガーの設定」の目次ページに戻る

トリガーのルール参照、追加、移動、および削除

始める前に

トリガーを追加します。「トリガーの追加」を参照してください。

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Triggers] を選択します。
[Triggers] ページが表示されます。
- ステップ 2** トリガーのルールを参照するには、強調表示されているトリガーの名前をクリックします。
[Trigger Rules < トリガー名 >] ページが表示されます。
- ステップ 3** トリガーのルールを追加するには、次の操作を実行します。
- [Add] をクリックします。
[Trigger Conditions < トリガー名 >] ページが表示されます。
 - 条件を追加します。「トリガー ルールの条件の追加、編集、および削除」を参照してください。
- ステップ 4** トリガーのルールを削除するには、次の操作を実行します。
- 削除するルールの横にあるボックスをオンにします。
 - [Remove] をクリックします。
- ステップ 5** トリガーに複数のルールがある場合、次の操作を行うことによって、命令を再実行できます。



ヒント ルールが一致すると、トリガーがただちに実行されます。システムを最適化するには、リストの最も上で一致するよう、ルールを設定することを推奨します。

- ルールを選択します。
 - 上矢印または下矢印をクリックします。
 - [Update] をクリックします。
- ステップ 6** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「トリガーの設定」の目次ページに戻る

トリガー ルールの条件の追加、編集、および削除

始める前に

トリガーおよびトリガーのルールを追加します。「トリガーの追加」および「トリガーのルールの参照、追加、移動、および削除」を参照してください。

制約事項

- 既存のルールには条件ケースを追加できません。最初にルールと作成するときのみ、条件ケースを追加できます。
- ルールに添付されている既存の条件は編集できません。
- 条件ケースはルールから削除できません。

手順

-
- ステップ 1** [Configure] > [Triggers] を選択します。
[Triggers] ページが表示されます。
- ステップ 2** 強調表示されているトリガーの名前をクリックします。
[Trigger Rules < トリガー名 >] ページが表示されます。
- ステップ 3** ここでルールを追加するには、[Add] をクリックします。
[Trigger Conditions < トリガー名 >] ページが表示されます。このページを表示することによって、新しいルールを自動的に追加していることとなります。このページは、新しいルールに条件を追加するページです。
- ステップ 4** 条件を追加するには、次の操作を実行します。
- a. [Trigger Condition] ドロップダウン メニューから、条件を選択します。表 4 を参照してください。
 - b. 必要な場合、条件ケースを選択します。
 - c. 必要な場合、一致させる条件を入力します。
 - d. [Add] をクリックします。
- 新しい条件を使用して、[Trigger Conditions < トリガー名 >] ページが表示されます。
- ステップ 5** 必要に応じて、このルールに追加条件を追加します。
-

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「トリガーの設定」の目次ページに戻る

